interview

そこが聞きたい！

『創造と改革』会長 小野寺康充氏

旭川地域活性化のために具体的な提言を続ける経済人のまちづくり組織『創造と改革』の新しい会長に小野寺康充氏（㈱オノデラ代表取締役、48歳）が就任した。設立以来掲げる「中心街活性化」のための次の取り組みなどを聞いた。

（聞き手・編集部本田）

市民に共感してもらえる提言 行政動かし中心街を活性化

きっかけづくり

――中川校一さんからバトンタッチしての会長就任、何代目なのでしょう。

小野寺 私は会が発足した1994（平成6）年からのメンバーです。初代会長が田島さんで、大廣―市田―中井―中川さんと続き、私が6代目となります。

――19年目を迎えたところですね。この間、どのような活動をしてきましたか。

小野寺 中心街の再生・活性化をテーマとして活動してきました。大晦日に市民を集め駅周辺のにぎわいを考えるカウントダウンイベントに4年間取り組んだり、旭川の新しい交通の調査やセミナー開催も実施。とくに旭川空港については、様々な実験の結果を踏まえた提言を行ってきました。

最近ではJR高架化新駅完成後の駅南エリアにガーデンを、夜間ステイを増やすためにスタルヒン球場にナイター設備を提言し活動してきました。

――どちらも実現しましたね。

小野寺 私どもの活動は「きっかけづくり」。駅南側をどう活用するかの議論からはじまりました。大きな民間の投資が見込めない厳しい経済情勢ですから、コスト的に負担が少なく、市民と旭川を訪れる人が楽しめて育てていけるものということでガーデンを提案しました。研究会を開く過程でさまざまなガーデンのプロとの交流も生まれました。実現し来秋オープンしますが、市民と観光客の交流の場になればと期待しています。

スタルヒンに夜間照明をというのは、年間600万人以上訪れる観光客のうち宿泊する人が1割位という現状を変えられないか、ナイトステイを増やすにはどうしたらよいのかという発想からの取り組みです。スタルヒンでプロ野球のナイトゲームがあれば、またほかのイベントも行われるようになれば市内の宿泊客も増加すると考えました。

先ほどもいいましたが我々の活動はきっかけづくり。提言を投げかけ市民の共感と同意を得て行政に働きかけていくものです。

10年位前、旭川空港の魅力を高めるための提言を続けましたが、空港の雰囲気があのころとは変わりましたね。動物園効果で、チャーター便が増え、スカイマークなども新規就航しています。

にぎわい創出

――これからの取り組みも教えてください。

小野寺 市庁舎建て替えですね。ぜひ中心街のにぎわいにつながる改築計画にしてほしいと考えています。

個人的な意見ですが、旭川の〝動線〟はJR旭川駅から買物公園―旭橋―国道40号線だと思うんですよね。いろんな候補地があるようですが、民間投資も呼び込めてにぎわい創出につながる計画に取り組んでもらいたい。それに近づくための提言が、われわれの会の直近の仕事ということになります。

――ところで、建設業界が厳しい不況下にありますが、オノデラさんの鋼構造物製造分野の景況はどうですか。

小野寺 業界は二分されています。旧来の仕事に甘んじて苦しんでいるところと、どんどん外に出て仕事を開拓しているところとあります。当社は、建設機械アタッチメントの製造注文が、震災発生の3日後から急増しました。当社オリジナルのロングセラー製品がありまして、がれき処理に必要なため震災から一年以上経過した現在も受注は順調です。防災関連の提案も発信していますが、これに対する反応もよく東北から関東、南は九州・沖縄まで仕事が増えています。

30万都市の力

――創造と改革での活動が、ビジネスに生きていますか。

小野寺 旭川北高―日本工学院を出て室蘭工業大学の職員を1年、その後道職員を7年務め、父親が創業したオノデラに入りました。技術屋ではないので、情報をひろってきて商品の企画につなげるのが仕事ですが、行政の職歴が非常に生きています。また創造と改革で他業種の経済人と交流しイベントを企画し様々な意見をすいあげていく、それが仕事にフィードバック、相乗効果があります。

創造と改革の活動でイベントをプロデュースし、本業では本州へ出かけて企画提案。そうした活動を通して感じるのは、マイナスの環境も見方を変える、外から見るとプラスだということですね。寒さと雪、田舎の街の野暮ったさも視点を変えれば大きな魅力です。

商品の紹介などで全国各地に行きますが、旭山動物園の街というだけで話を聞いてくれビジネスにつながることが多々あります。一本、芯の通っている施設がある街の会社ということで、一定の評価をしてくれるようで本当にありがたく思っています。

人口30万人台という都市規模も良いのだと思います。経済を引っ張っていくのは大都市ですが、旭川のような全国の中核市、この規模の街がスタビライザー（安定化装置）。非常に大事な役目を果たしていると思います。

――先日、鈴木宗男氏を招いて地域活性化セミナーを開催しましたね。

小野寺 旬の人、旬の話題をメンバーだけで聞くのはおしいということで不定期でセミナーを開催しています。セミナーはどなたでも参加できますし、創造と改革の活動に興味がある、参加したいという人はぜひご入会を。会費は月2000円、年間2万4000円です。

会の活動の趣旨は、一言で言うと「街に必要な人材づくり」。共に学んでいきましょう。

不思議な会で、政治的には対立しているメンバーもここでは好きなことを言い合いながら、笑いが絶えません。意見が対立しながら全体としてどうするかまとめていきます。

創造と改革の新役員（5月改選）

会　長	小野寺康充	㈱オノデラ
副会長	安住　太伸	安住太伸事務所
	高橋　伸一	㈱アサヒテック
	堀　　直視	アトラス・サーベイ㈱
幹　事	石川千賀男	㈱柴滝建築設計
	薄井タカ子	薄井税理士事務所
	川村　祐子	平和通商店街組合
	小川　諭一	北海道富士興業㈱
	中川　和馬	三井住友海上旭川
	中川　校一	㈱電業
	樋口　一枝	美容室ＵＬＵ
	増田　秀樹	㈱ジュリアンヌ
	渡辺　　毅	北海道警備保障㈱